

志摩市内 保育所(園)・幼稚園

・認定こども園・小中学校 保護者の皆様



子どもの育ちや学びの支援

# 志摩市総合教育センター

～全国学力・学習状況調査(志摩市の結果概要について)～

令和6年11月

本年度も小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。調査結果の概要についてお知らせします。

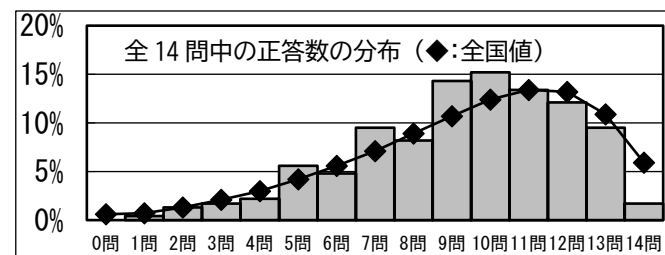
## 全国学力・学習状況調査の目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (「令和6年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要項」より抜粋)

## 【小学6年生の様子】

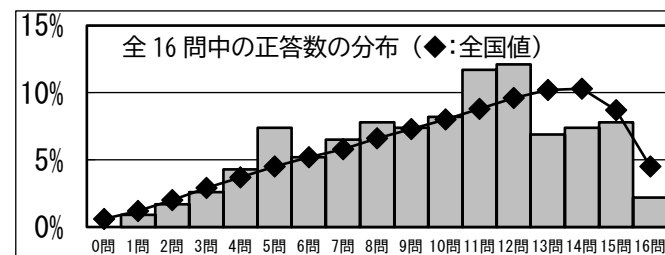
### 国語

全国の平均正答率と比べて、やや下回る結果となりました。



### 算数

全国の平均正答率と比べて、やや下回る結果となりました。



- ▼国語の記述式問題について、全国と比べて正答率は大きな差はありませんが、空欄となっている解答もみられるので、書くことへの苦手意識や抵抗感があることが読み取れます。
- ▼算数についても、計算や簡単な読み取りなどの基礎的な問題への理解は見られる反面、速さなどの割合に関する問題や球に関する問題の理解には課題が見られます。

## 小学校の学習状況調査から

そう思うという意見が多かった項目

- ・いじめはどんな理由があってもダメだ
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・人が困っているときは進んで助けたい
- ・友達関係に満足している

生活の中で、自分や相手のことを大事にしようとしている姿勢が見られます。このことは、今後も大事な取組として継続していききたいと思います。

## 正答率との関わりを分析してみると…

生活リズムと平均正答率の間には関係性がみられ、毎日同じくらいの時刻に寝ている子どもの方が、正答率が高くなる傾向にあります。

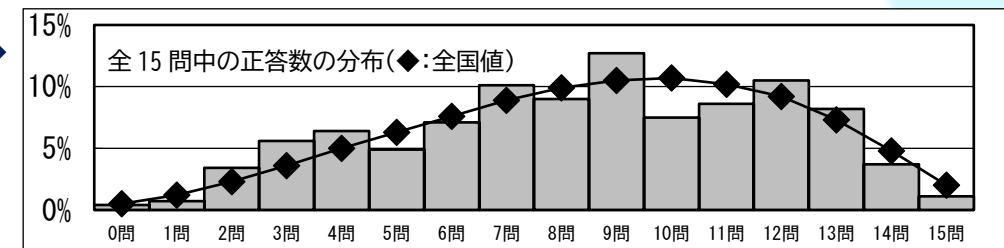
計算や漢字といった基礎的な問題については一定の成果が見られます。しかし、長い文章から読み解いたり、記述したりする問題には苦手意識が見られます。



## 【中学3年生の様子】

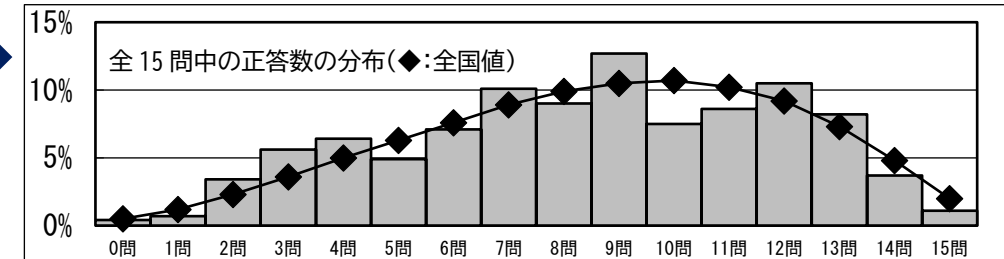
### 国語

全国の平均正答率と比べて、やや下回る結果となりました。



### 数学

全国の平均正答率と比べて、やや下回る結果となりました。



- 無回答率を見ると、何とか解答しようとする意欲は全国と比べても遜色がありません。
- 課題としては、
  - ▼国語では、条件を満たすような作文で答える問題や文章の意味を正しく読み取る問題に課題がありました。
  - ▼数学では、根拠を説明したり証明したりする問題に課題がありました。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の設問に対して肯定的に回答した生徒の平均正答率が高いことから、志摩市が取り組んでいる「主体的を育む活動」や授業における「ふりかえり」や「まとめ」の重要性がわかります。

## 中学校の学習状況調査から

そう思うという意見が多かった項目

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・いじめは、どんな理由があってもいいことだと思う
- ・朝食を毎日食べている
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれている

「人の役に立つ人間になりたい」や「いじめを許さない」という認識は高く、市内の各学校が大切に取り組んでいる人権教育の成果が出ています。

## 正答率との関わりを分析してみると…

「自分には、良いところがあると思う」という項目に肯定的な回答をした生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあります。自己肯定感が安定した生活や学習に関係していることがわかります。放課後や週末に「家で勉強や読書をしている」と回答した生徒の方が、平均正答率が高いというのも、うなずける結果です。



## 家庭と連携して取り組みたいこと

小学校では、1日当たりのテレビゲームやスマホの利用時間が多いということが課題となっています。中学校でも、平日、テレビゲームを1日あたり2時間以上利用している生徒の割合が高く、家庭学習の定着に課題があります。当然ですが、ゲームやスマホの時間が長くなれば、正答率が下がる傾向にあります。

家庭学習については、学校と連携・協力して取り組んでいただくとともに、「みえの学力向上県民運動ホームページ」には、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画が掲載されています。右に記載した二次元コードからアクセスできますので、ぜひご活用ください。



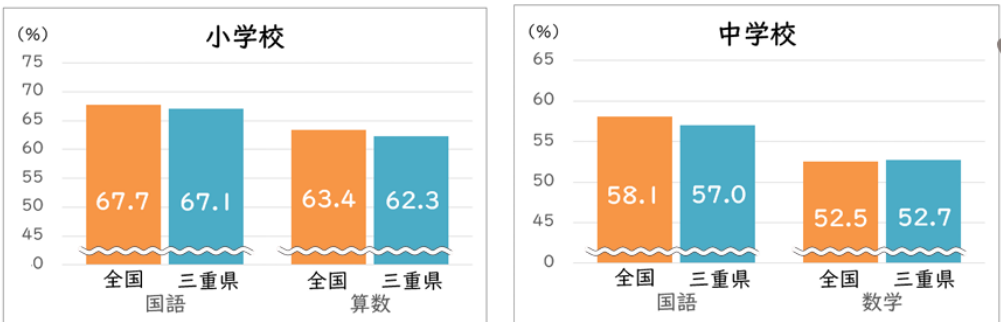
問い合わせ先：志摩市総合教育センター Tel 52-0280

# みえの子どもたちの家庭学習の習慣化を ～やる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけるために～

令和6年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の調査結果をお知らせします。

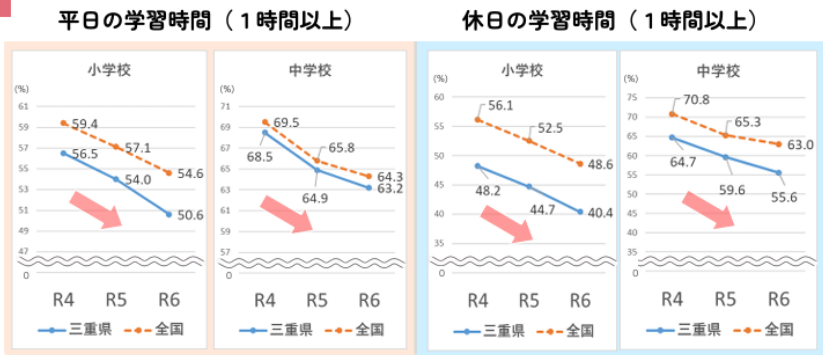
子どもたちのやる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけられるよう、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの学力を育んでいきましょう。

## 子どもたちの各教科の平均正答率は？



## 家庭での時間の使い方は？

授業時間以外に1時間以上学習する児童生徒が年々減っています。

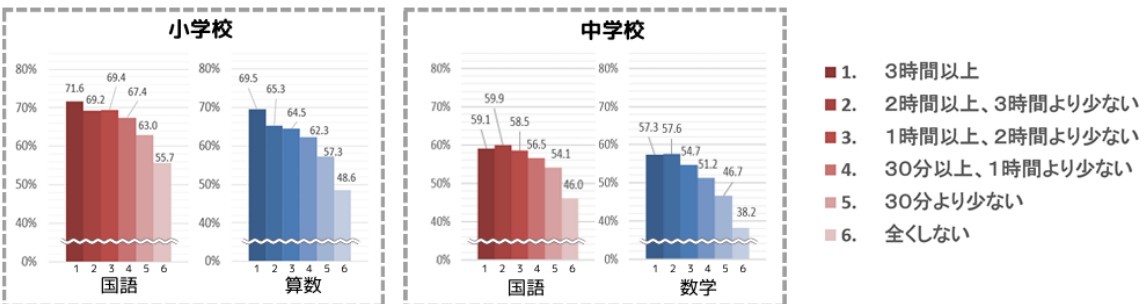


## 「平日の学習時間」と「平均正答率」の関係

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

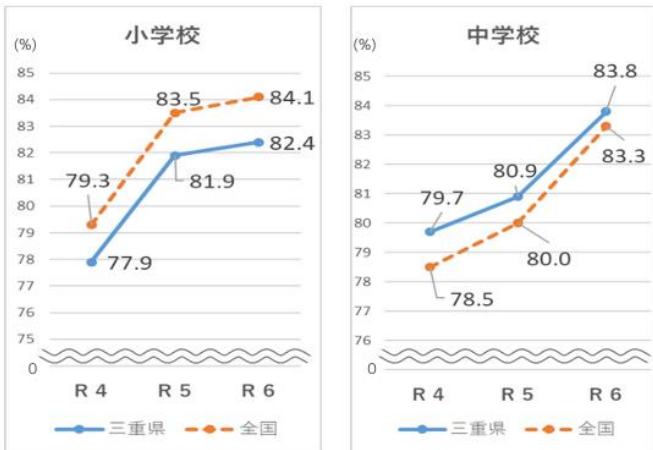
✕ 教科に関する調査の平均正答率

学校の授業時間以外での学習時間が長い子どもたちほど、教科の平均正答率が高い傾向がみられます。



## 子どもたちの自己肯定感とは？

「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が年々上昇しており、自己肯定感が高まっています。



「わかった」「できた」という達成感の積み重ねが大切です。

## 学習習慣等を身につけるために

家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業への集中力が高まります。また、いろいろな学習分野への興味・関心も高まります。子どもたちに関わり、励ましながら、学びと育ちを支えていきましょう。

### 一緒にルールづくりを

- 家庭での学習時間を確保しましょう。学習時にはテレビを消すなどの環境づくりも大切です。
- 子どもたちが、ゲームやスマホ、インターネットを適切に使用できるよう、お子さんと話し合い、使用時間などの家庭でのルールづくりに取り組んでいきましょう。

### 子どもと本をつなごう

- 手の届くところに本を置くなどの工夫をしたり、読書の時間を設け子どもと一緒に本を読んだり、本について話し合ったりするなど、「家読（うちどく）」\*に取り組みましょう。

\*「家庭読書」の略語で「家庭ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書活動です。

### 早ね早おき朝ごはん

- 毎日同じぐらいの時刻に起床・就寝するなど、規則的な生活習慣を身につけることが大切です。
- 「おはよう」から始まり「いただきます」「行ってきます」と、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

### 子どもをほめる機会を

- 子どものやろうとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、ほめていきましょう。
- 「なぜかな?」「どうしてそうなるのかな?」などの声かけが、疑問に思ったことを調べる習慣につながります。



### みえの学力向上県民運動ホームページ

子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載しています。

